

学籍番号 _____ 氏名 _____ 得点 _____

※計算問題の場合、途中式がない解答は無効とする。

Q1: $x(t) = \cos(\omega t)$ が微分方程式 $\ddot{x} = -\omega^2 x$ の解であることを示しなさい(10).

$\cos(\omega t)$ を時間で2回微分すると $-\omega^2 \cos(\omega t)$ となるので、 $\ddot{x} = -\omega^2 x$ が成立。ゆえに $\cos(\omega t)$ は微分方程式の解である。

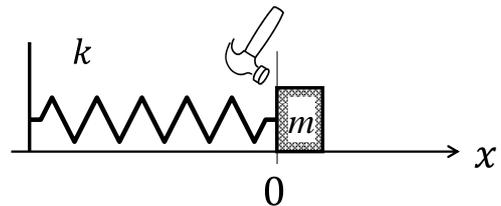
Q2: 微分方程式の一般解、 $x(t) = C \cos(\omega t + \delta)$ (C, δ は任意の定数)が与えられた。時刻ゼロで $x = 0, \dot{x} = V$ である。 C, δ を決定せよ(20).

時刻ゼロで $0 = C \cos(\delta)$ 。ここで $C = 0$ と考えると解は恒等的にゼロになってしまうのでこれは却下。一方、 $\delta = \pi/2$ とするとやはり右辺はゼロなのでこれを採用。時間で微分すると

$$\dot{x} = -\omega C \sin\left(\omega t + \frac{\pi}{2}\right). \text{ 時刻ゼロで } V = -\omega C \sin\left(\frac{\pi}{2}\right) \text{ より } C = -V/\omega.$$

※ $\delta = -\pi/2$ でも正解だが、この場合は $C = V/\omega$ となる。

Q2: 図のように質量 m のおもりがばね定数 k のばねにつけられ、水平で摩擦の無い床に置かれた。座標系を図のように取った。時刻ゼロでおもりに正方向、大きさ K の力積を与えた。以下の問いに答えよ。



(1) 運動方程式を書きなさい(10).

$$m\ddot{x} = -kx$$

(2) 運動の初期条件(x, \dot{x})を数式で表せ(10).

$$t = 0 \text{ で } x = 0, \dot{x} = K/m.$$

※求められているのは初期条件。意味が解っていない解答は不正解。

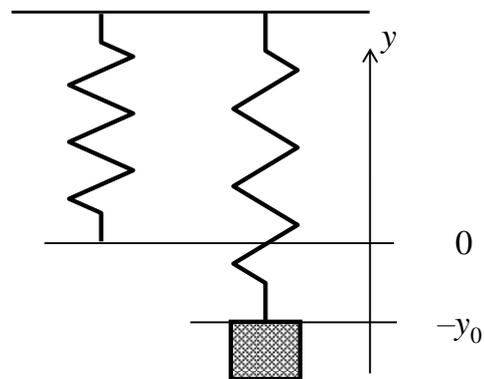
(3) 運動を決定せよ。ここで $\omega = \sqrt{k/m}$ を使い解答すること(10).

$\ddot{x} = -\frac{k}{m}x$. $\frac{k}{m} = \omega^2$ と置けば、これは単振動の微分方程式である。一般解は

$$x = A \cos(\omega t) + B \sin(\omega t) \quad (A, B \text{ は定数}). \text{ 初期条件を代入すれば } A = 0, B = \frac{K}{\omega m}. \text{ した}$$

$$\text{がって、答: } x = \frac{K}{\omega m} \sin(\omega t)$$

Q3: 図のように鉛直に保持されたばね定数 k のばねに質量 m のおもりをつけるとばねは平衡の長さから y_0 伸びて止まった. ここからおもりを更に Δy 押し下げ, 時刻ゼロで静かに離す. 座標系を図のように取った. 重力加速度の大きさを g とする. 以下の問いに答えよ.



(1) 運動方程式を書きなさい(10).

$$m\ddot{y} = -ky - mg$$

(2) おもりが止まった位置は $y = -y_0$ である. 従属変数 $y' = y - y_0$ を使い, 運動方程式の非斉次項を消去せよ(10).

$y' = y - y_0$ を変形, $y = y' + y_0$. また $\ddot{y} = \ddot{y}'$. これらを元の運動方程式に代入すると,

$$m\ddot{y}' = -k(y' + y_0) - mg$$

ここで, $y_0 = -\frac{mg}{k}$ を使えば,

$$m\ddot{y}' = -ky'$$

となって非斉次項が消える.

(3) 時刻ゼロにおける y' と \dot{y}' を数式で表せ(10).

$$t = 0 \text{ で } y' = -\Delta y, \dot{y}' = 0.$$

(4) 運動 $y(t)$ を決定せよ. ここで $\omega = \sqrt{k/m}$ を使い解答すること(10).

$\frac{k}{m} = \omega^2$ と置けば, これは単振動の微分方程式である. 一般解は

$$y' = A\cos(\omega t) + B\sin(\omega t) \quad (A, B \text{ は定数}). \text{ 初期条件を代入すれば } A = -\Delta y, B = 0. \text{ し}$$

たがって, $y' = -\Delta y\cos(\omega t)$. ここに $y = y' - y_0$ を使えば,

$$\text{答: } y = -\Delta y\cos(\omega t) - y_0$$